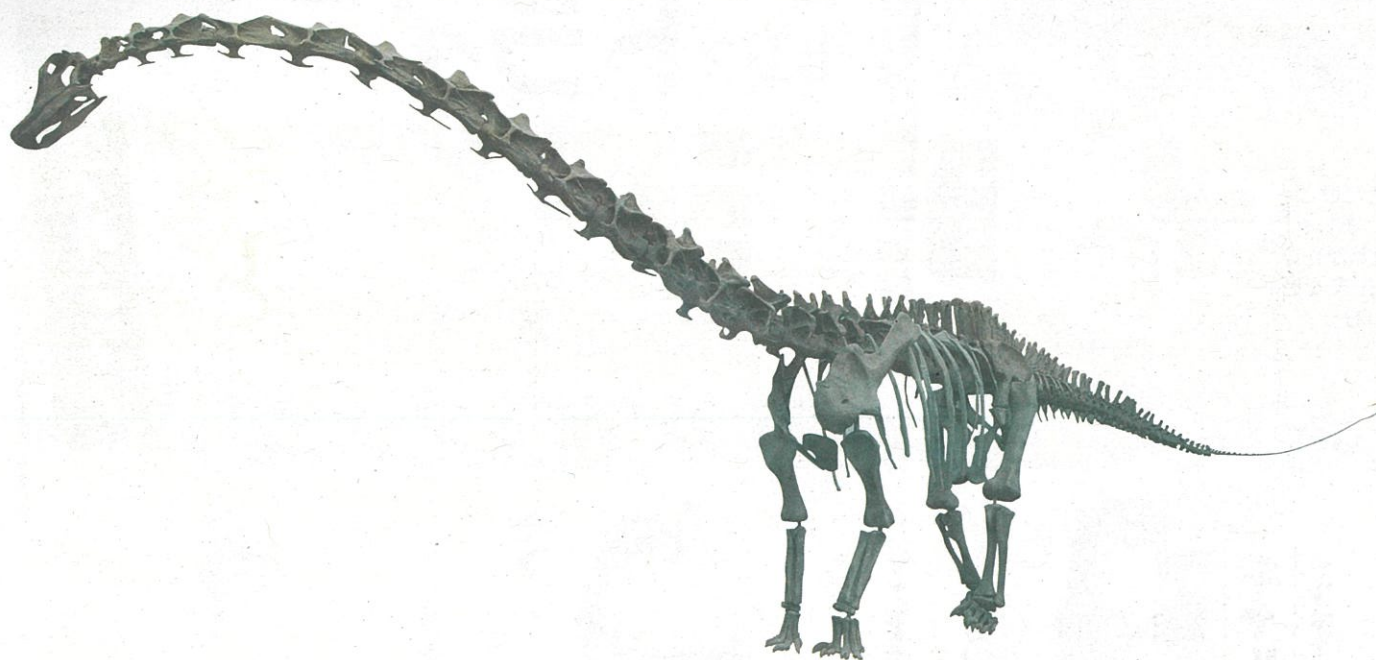


## 特集

ディプロドクス全身骨格。尾が特に長く、尾骨の数は…会場で数えてみてください



# 世界に知られた米国の恐竜

## 恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣忍



全長27メートル！ディプロドクス・カーネギーイ

### まめちしき 豆知

ディプロドクス類の骨はたくさん発見され、中にはとてつもなく長い恐竜もありました。それらはセイズモサウルスやスーパーサウルスという名前をつけられたりしました。研究が進み、これらは三十数種もある巨大な「ディプロドクス」ではないかという考えが出されています。

「ディプロドクス・カーネギーイ」

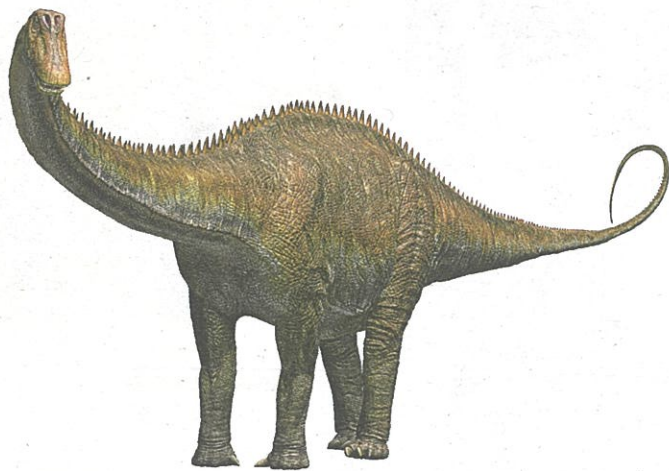
今年の夏、岡山で展示される大型恐竜の名前です。岡山で20メートルを超える恐竜骨格が展示されるのは初めてのことなので、何となくワクワクしてしまいますね。

ディプロドクスという名前は尾骨の下にある「血道弓」という骨の、特徴ある形を表した言葉です。ではカーネギーイって？はい、それは「カーネギーさんの」

という意味です。カーネギーは鉄の生産で大成したアメリカの実業家ですが、恐竜が大好きで、大金を寄付してアメリカ西部で恐竜の発掘を行いました。寄付に感謝した古生物学者が、発掘された中で一番長い恐竜に彼の名前をつけたのでした。

カーネギーはピッツバーグという町に大きな博物館をつくって恐竜の骨を展示しました。さらにディプロドクスの骨の精巧な複製をつくり、ロンドン、パリ、ベルリン、ウィーンなど世界各地の博物館に寄付しました。

実物の化石は一つしかないけれど、複製をつくればたくさんの人に見てもらいことができる。現在では当たり前になった「骨の精密な複製をつくらせて展示する」ということを最初に大がかりに行ったのはカーネギーさんだったのです。こうして巨大なアメリカの恐竜は世界中の人に知られ、一大ブームを起こしたのです。



背中の骨は「骨」ではなく、私たちの爪と同じような成分でできています

(絵・月本佳代美)